

第4学年国語科学習指導案

日時 平成17年9月8日(木)6校時

場所 4年3組教室・やまゆりホール

児童 4年3組 男18名 女16名 計34名

指導者 田村 芳

- 1 単元名 調べて発表しよう
教材名 「伝え合う」ということ

2 単元設定の理由

(1) 児童観

子ども達は、3年上「道あんないをしよう」で大事なことを選び順序よく話すこと、大事なことに気をつけて聞くことを、4年上「伝言はまちがえずに」では大事なことを確かめながら聞き、短い言葉でメモを取ることを学習した。日常活動では、身近な出来事のスピーチや短い詩の暗唱、表現集会での発表を行っている。その結果、身近な出来事について順序立ててスピーチをする事に慣れ、それらに興味を持って聞くことや、大事な用件を短くメモすることができるようになってきた。しかし、スピーチには個人差があり、思いつくままに話すために内容が乏しかったり、十分に聞き手に伝えられなかったりする児童も少なくない。事前テストの結果からも、スピーチは嫌いではないが恥ずかしいと感じている児童が多いことや、スピーチするとき気をつけているのは態度面が多く、組み立てや中心など内容面に関して意識している児童は少ないことがわかった。聞き方に関して、興味はもっているものの、相手が伝えたいことを考えながら聞くことのできる児童は少ない。

(2) 教材観

本教材は「手と心で読む」をきっかけに課題を持ち、調べたことを原稿にまとめ、それを基に発表の仕方を工夫して練習し、発表会を行うという活動がある。これらの活動を通して、さらに知識を得、ものの見方・考え方を広げることがをねらいとしている。ものの見方・考え方を広げるとは、友だちの発表を聞いて、新たに自分の考えを持つことである。そのためには、聞き手に伝わるようなスピーチをする力、話し手の伝えたいことを聞き取る力が必要となる。そこで、体験学習や調べ学習を充実させ、伝えたい内容を明確にして原稿を組み立てること、それを基に、相手を意識したスピーチ練習を充分にすること、発表会や交流会を行うことにより、中心を意識して原稿を組み立てる力、よりよいスピーチをする力、中心に気をつけて聞く力をつけることができる。以上のことから、中心や組み立てを意識し、相手に伝わるように自信を持って話す力、相手の伝えたいことを考えながら聞く力を育てるのに有効な教材である。

(3) 指導観

「話すこと・聞くこと」の言語活動への関心・意欲・態度を高め、指導と評価の一体化を図り、本単元のねらいに迫るために、以下のことを指導の手だてとして位置づけた。

関心を喚起させるために

- ・課題を立てる前に、総合的な学習で「老人体験」「アイマスク体験」「点字体験」等の体験活動を行い、詳しく調べてみたいという具体的な課題意識につなげる。
- ・調べ学習コーナーを作り、本・資料・写真・福祉に関わる具体物などを設置し、進んで調べることができる環境を整える。

意欲を持続させるために

- ・発表会では、招待した3年生の手本となるような態度で、友だちには調べた内容が伝わるよう工夫してスピーチすることを、意識して練習させる。
- ・モデルを提示することで、上手なスピーチの仕方をイメージできるようにする。
- ・視聴覚機器を活用し、良いモデルの提示をしたり、スピーチ練習の手だてとしたりする。

態度を育成させるために

- ・相互評価や自己評価を通じて自分の伸びが感じられるようにする。
- ・発表会后にスピーチの内容に関わって、初めて知ったことや良かったことを交流することにより、考えを深め、満足感を持たせられるようにする。

指導と評価を一体化するために

- ・事前テストや振り返りカードを基に計画的に個々を見取り、次の指導に生かす。
- ・相互評価や自己評価はもちろん、教師からも適切なアドバイスや評価を適宜行う。

3 単元の指導目標

- ・ 「手と心で読む」をきっかけに、点字などの伝え合いの方法に興味をもち、自分の課題をもって調べて発表するとともに、交流によってさらに知識を得、ものの見方・考え方を広げる。

4 単元の評価規準 (B)

ア 国語への関 心・意欲・ 態度	関 心	① 「伝え合う」ことに興味をもち、自分の課題を持って調べようとしている。
	意 欲	② 相手意識を持って話したり聞いたり、進んで練習をしようとしている。
	態 度	③ 話の中心に気を付けて、話したり聞こうとしたりしている。
イ 話す・聞く 能力	構 成 要 素	① ① 調べた事の中から自分の一番知らせたいことは何かを考えている。
		② ② クラスの友達に自分の考えが分かるように筋道を立てて話している。
		③ ③ 話の中心に気をつけて聞き、自分の感想をまとめている。
ウ 読む能力		① 自分なりの課題をもつために、「手と心で読む」を読む。
エ 言語についての 知識・理解・技能		① グループ内、クラス内など状況に応じて適切な音量や速さで話している。 ② 相手やその場の状況に応じて丁寧な言葉で話している。

5 単元の指導計画 (話す・聞く 13時間, 読む 1時間)

時間	主な学習活動	具体的評価規準 (B)と【評価方法】	指導の手立て
一 次	第1時 ○単元名から単元のねらいをつかみ、学習の見通しをもつ。 ○「手と心で読む」全文を通読し、初発の感想を交流する。	アー① 学習のめあてが分かり、単元全体の見通しをもっている。 【観察・発言】	・まず「伝え合う」とはどういうことなのか単元のねらいをつかみ、目的意識を明確にもって学習を進められるようにする。
	第2時 ○「手と心で読む」の内容を読み取り、自分をもっと調べてみたいことを考える。	ウー① 「手と心で読む」を読み取り、初めて知ったことや疑問に思ったことなどを書きまとめている。 【ノート】	・写真や実物を使って興味を喚起するようにする。 ・三つの大きなまとまり毎におよその内容をつかむ。
	第3時 ○自分が調べたいことを決め、グループ毎に調べる内容・方法・分担について話し合う。	アー① 調べる内容や方法を積極的に話し合っている。 【グループの話し合いの様子】 【学習カードの記述】	・点字にとらわれず、目や耳、身体に障害を持つ方々の「伝え合い」についても広い観点で探させたい。
二 次	第456時 ○自分の課題について、学習計画に基づいて調べ学習をする。	アー② 伝え合い、分かり合うための工夫について、計画に沿って進んで調べている。 【活動の様子】 【取材カードの記述】	・調べて分かったことや思ったこと、考えたことをそれぞれ取材カードに書く。 ・希望する子どもには、障害をもつ方々にお話を伺う機会を設ける。
	第7時 ○知らせたい中心を決め、前時までに書いたカードを整理したり話す順番に並べ替えたりする。	イー① 知らせたい事の中心を考えて、カードを整理したり、並べ替えたりしている。 【構想表・ノート】	・教科書の発表例からだけでなく、指導者がモデルスピーチを行うことで話の中心や組み立てについて考えさせるようにする。

時間	主な学習活動	具体的評価規準 (B)と【評価方法】	指導の手立て	
二 次	第8 9時	○調べて分かったこと をもとに発表原稿を作 る。	イー① 伝えたい中心をはつき りさせ、初め・中・終わ りの簡単な組み立てで原 稿をかいている。 【発表原稿の内容分析】	・初めに教科書の発表例から、 基本的な組み立てと分量を全 体で学び合ってから、書く活 動に入るようにする。 ・発表原稿は、発表することを 意識することができるように 工夫したい。
	第10 時～ 本時 ～	○スピーチ原稿をもと に、スピーチメモを作 る。	イー① スピーチメモに、知ら せたい事が確実に伝わる 言葉、話すのに必要な言 葉を選んで、端的に書い ている。 【スピーチメモの内容分析】 アー② 相手を意識して、進ん でスピーチの練習をしよう としている。 【練習の観察】	・よい発表の仕方を考えさせる ためにあらかじめ教師（もし くは児童）がモデルとなって ビデオ資料を作成する。 ・聞き手を見て話している発表 者の原稿の工夫を紙板書で提 示したり、教科書の発表メモ の例を活用したりして、書き 出しを囲むメモの工夫に気付 かせる。
	第11 時	○スピーチメモをもと に練習をする。 ○練習をもとに自分の スピーチを見直す。	イー② 話しの区切りや大事な 言葉の前で、間を取りな がら話している。 【練習の観察】 【自己評価カードの内容分析】	・良いモデルと悪いモデルを比 較させることで、間を取って 話す良さに気づかせる。 ・グループ練習の際、アドバイ スや良さを伝え合うことで、 個々の活動が高まるようにす る。また、教師も適宜評価を 行うようにする。
	第12 時	○調べたこと「発表 会」のやり方を知る。 ○聞き取りメモの工夫 について話し合う。 ○実際にメモをとりな がら練習する。	イー③ 友達のスピーチの大事 なことを、メモを工夫し ながら聞き取っている。 【聞き取りメモの記述内容の分析】 【自己評価カードの内容分析】 アー③ 話の中心に気を付け て、話したり聞こうとし たりしている。	・CDを使って、聞き取りメモ を実際に練習してみる。 ・技術面のみでなく、内容面の よさも相手に意識させたい。 アドバイスカードの裏には、 初めて知ったことや感心した ことなどを書くことができる ようにする。
三 次	第13 14時	○調べたこと「発表 会」をする。 ○伝え合うことについ て、自分の感想や考え をまとめる。	エー② 相手やその場の状況に 応じた適切な言葉遣いで 話している。 【発表の観察】 イー③ 感想を交流し合い、 「伝え合う」ということ について自分の考えをま とめている。 【ノート】	・相手意識を持って活動に臨め るように、ゲストとして3年 生を招待して発表を聞いても らうようにする。また、ビデ オもとり保護者の方々にもテ ープを貸し出してみてもら うようにする。 ・発表会を振り返り、ノートに 伝え合うことについての感想 を書きながら自分の考えをま とめていくようにさせたい。 尚、書く時間は十分に保障す るようにする。

6 本時の指導

(1) ねらい

聞き手に伝わるように、工夫して話すことができる。

(2) 展開

段階	学習内容と学習活動	指導上の工夫と 評価 教材・教具
<p style="text-align: center;">導 入</p> <p style="text-align: center;">8 分</p>	<p>1 前時の学習をふり返る。</p> <p>2 モデルのスピーチを聞き、より相手に伝わるスピーチの仕方を考える。</p> <p>3 本時の課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>話の区切りや大事な言葉の前で、間を取りながら話そう。</p> </div> <p>目的意識：自分の調べたことがよく伝わるように 相手意識：3年生とクラスの友だちに</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチメモを使い、聞き手を見ながら話している児童を紹介する。 ・大事な言葉の前で、間を取る良さに気づかせるために、2つのモデルをテープで聞かせ、比較させる。 ・大事な言葉の前で間を取ると良いわけを、押さえる。 ・発表会で、一番伝えたいことを聞き取り、メモしてもらうには、すらすらスピーチするだけでなく、その部分を印象づける必要があることを、しっかり押さえたい。
<p style="text-align: center;">展 開</p> <p style="text-align: center;">37 分</p>	<p>4 モデルを見て、間の取り方を練習する。</p> <p>5 発表練習をする。 (1) 二人組で練習する。</p> <p>(2) 四人組で聞き手と発表者になり、交代で練習する。</p> <p>1回目の練習 相互評価</p> <p>上手な児童の紹介</p> <p>2回目の練習 相互評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・良いモデルを見せ、間の取り方を視覚でも確認すると共に、話し手の表情にも、注意を向けられるようにする。 ・間を取っているかどうか、二人組で確認する。 ・一人が発表したら、聞き手は間について評価する。色カードを渡して相手に結果を知らせるが、具体的なアドバイスもできるようにさせたい。2回目の練習では、良いところや良くなったところも言うようにさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>評価 イー</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目の練習後、上手にできた児童を紹介し、2回目の活動が高まるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>評価 イー</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・2回目の練習後、1回目にアドバイスを受けた児童に発表させ、良くなった点を評価し、達成感を持たせたい。
<p style="text-align: center;">ま と め</p> <p style="text-align: center;">5 分</p>	<p>5 学習のまとめをする。 ・自己評価 ・感想発表</p> <p>7 次時の学習内容を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の練習で上達したことを具体的に取り上げ、次への意欲につなげたい。 ・次時の発表会に向けて、めあてを持たせて終わりたい。

(3) 評価と支援

【観点】	【具体の評価規準】	【児童への具体的な支援】
イー	A 話の区切りや大事な言葉の前で、間を取り、さらに大事な言葉を強調して話している。 B 話の区切りや大事な言葉の前で、間を取りながら話している。	A モデルとして取り上げたり、良い点を称賛したりする。 C 上手な友だちを例にするなどして、具体的にアドバイスをする。

(4) 板書計画

